



# MANSORY

## Mercedes-Benz G55L AMG Long

SPEC	
Soft Kit Visible carbon	マークレスグリル ¥2,992,500
ボンネット Visible carbon	¥661,500
Dピラーカバー Visible carbon	¥105,000
テールライトカバー Visible carbon	¥79,800
スペアタイヤカバー Visible carbon	¥378,000
10Wスポーク(10x22)	¥215,250
10Wスポークアダプターキット	¥99,750

# 強烈な個性を色濃く映す マンソリーアイデンティティ

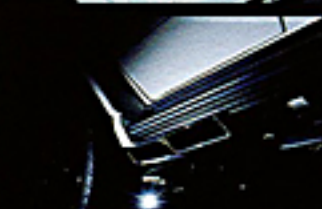
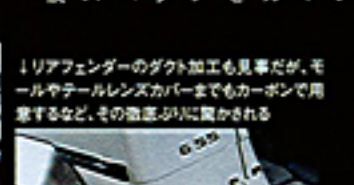
ハイエンドモデルばかりを扱うマンソリーが、なぜそれほどまでに徹底して造り込むのか。それはハイエンドモデルだけに、徹底して贅を極めたオーナーに向けているからこそで、それを象徴するGクラスから感じとってみたい。

写真：ウイズ・フォト 文章：永田トモオ  
同乗者カーコーディネーション TEL.048-853-2222 www.lager.co.jp  
車両協力：ホソカワショップ 渡和 TEL.048-851-4411 www.hosokawa.co.jp

↑カーボンボンネットだけでなく、左右のフェンダーパネルも交換しているため、特徴的なフェンダーラインがなくなっている



↑リアフェンダーのダクト加工も見事だが、モールやテールレンズカバーまでもカーボンで用意するなど、その徹底が目に驚かされる



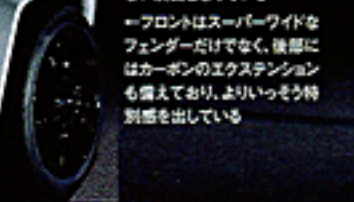
↑サイドステップ下から覗くスクエアウィンのマフラーカッターは、洗練されたハードなイメージを崩すことなく溶け込ませられる



↑エクステリアだけでなく、内装も張り替えられている。こちらはオーダー次第でどのようでも仕上げられるので、要問い合わせ



↑リアバンパーにはセンターにLEDのバックフォグも追加。ハードでありながらも、アップクラスであることを忘れさせない演出となっている



徹底したボディワークにより、最上級のオーナーを満たすマンソリーが、ハイエンドユーザーのためのチューナーであり、エクステリアメイクにも、惜しみなくコストをかけた仕事をするというところは知っている。しかし知っているだけでは、このGクラスのように、贅沢さを巧みに隠したメイクを見せられると、その徹底が目に映り込んでしまう。撮影車のベースになっているのはG55 AMG。ベースグレードよりもともとワイドで力強いデザインを持つが、マンソリーはそれをさらにパワフルに洗練させている。最初のひと目でとてもシンプルに見える。ボンネットやフロントグリル、前後バンパーのアンダーパネルなど、カーボンパーツを賢く使ったディテールアップかと思いきや、実はバンパースポイラーに前後

フェンダーのパネルまでオリジナルデザイン。エアロとカーボンパーツを、トータルでデザインしているのだから恐ろしい。だからこそ、このキットはAMGでなくとも装着可能であることも納得させるを得ない。これを「コーシャス」という言葉で表現してしまうと、いかにもデコレーション満載のルックスを想像させるが、このクルマの場合はカスタムの発想そのものが贅を極めているというところ。とにかく、説明に困るほど完成度の高いエクステリアワークなのだ。ハイエンドモデルだからこそ、さらにその上をいくオーナーをどう満足させるのか、マンソリーが見つけるレベルが如何ほどなのかを象徴する一台と言っていいたいだろう。

↑フロントはスーパーワイドなフェンダーだけでなく、後部にはカーボンのエクステンションも備えており、よりいっそう特別感を出している

